



あじさい通信

平成23年 10月号
編集・発行：まいわー1st事務局
沖縄県那覇市首里石嶺町 4-373-1
県総合福祉センター小規模団体室



九州大会の疲れも抜けてきた今日この頃、思いがけない職種の新入賛助会員がじりじりと増えています。これも九州大会のべ1600人の集客のお陰か、啓発って大事だなあ、ここからもっと発展させたいなあ、と思いつつ穏やかな気候にぽけ～っとしています。

運動会シーズンですね。お天気が調子悪いので練習もはかどっていないのではないのでしょうか。天気が悪いと機嫌が悪い自閉症児がいても、先生方どうか焦らないでくださいね。運動会は人生の中でホンの一コマの出来事、赤が勝っても白が勝っても、誰も先生のせいとは言いません。自閉症児たちの自己肯定感を下げない事のほうが、あとの半年、スムーズな学級運営に役立ちますよ。困難に立ち向かいやり遂げたという達成感、運動会でなくても獲得するチャンスはありますからね。毎日練習している拡声器の声を聞きながらハラハラします～。

自閉症児が運動会に抱える問題、①日常と違う ②時間割がめまぐるしく変化する ③周りのテンションが高くなる ④運動が苦手な子が多い ⑤音が大きい ⑥長時間の緊張を保てる体力がない ⑦自分のやる事が理解できていない ⑧土埃が嫌い ⑨本人の理想が高すぎる etc、ご参考までに。

遅々としていますが、世の中変化していますね。行政から当事者の声を聞きたいとの要望が寄せられるようになりました。親の会の役割のひとつは保護者・当事者の生の声を行政に届ける事です。まとめて持っていきますから遠慮なくお寄せください。たとえば、まず県庁の職員全員に発達障害についての研修を義務づけてもらおう、とか。当事者団体にボランティアに来ましよう、とか。各自治体に特例子会社ならぬ特例子部署(発達障害に限る)を作って、仕事内容や勤務形態を自閉症バージョンで構成するとか。いかがでしょうか。自閉症、使い方によっては役に立つ、かも。

来年度に向かったの準備が山場にさしかかっています。ポケットとした頭に渴を入れなくては。
(西岡)

世界自閉症啓発デー

毎年4月2日は国連が定めた「世界自閉症啓発デー」です。

一昨年：啓発冊子発行

去年：自閉症映画上映「ぼくはうみがみたくなりました」 自閉症の作品展

今年は、さあ、何をやりましょうか。多くの方に自閉症を知ってもらおうチャンスです。

明るく楽しい自閉症ライフをアピールしませんか。多くのアイデアお待ちしております。

わらびの会運営委員会の報告

わらびの会とは、こども病院開院のために協力団体で構成された母子総合医療センター設立推進協議会が、平成18年4月、こども病院開院に伴い、「NPO法人こども医療支援わらびの会」へと発展した団体です。病児やその家族が安心して治療が受けられるよう支援すること、こどもの健全な育成と医療福祉の向上に寄与することを目的に16の重症や難病・障害の病児者家族団体が結集し発足しました。沖縄自閉症児者親の会まいわーどは設立時からの加盟団体で、会長は理事を務めます。

活動の主な内容は①病院ボランティアに関する事業、②遠隔地病児家族等の宿泊施設運営です。

第74回運営委員会報告

1. こども医療センターへの要請と課題

要請内容はあじさい通信9月号参照

課題・・・①県立病院の存続か法人化かの回答が来年出される。南部医療センター・こども医療センターが存続するように、必要性を県民がアピールしていくことが必要。

②成人先天性外来科の設置を希望

③キャリアオーバーの解消

2. わらびの会事務所移転について

現在の沖縄県総合福祉センター2Fの事務所をファミリーハウスがじゅまるの家に平成24年3月中に移転

3. わらびの会だより6号特別企画（懇談会）編集について

4. その他・報告

1. 第11期病院ボランティア養成講座終了。受講生33名うち19名がオリエンテーションと実習を受け→10名がボランティア登録を済ませ→7人が活動をスタート
2. 平成24年度民間福祉資金要望書に係る事業計画書（病院ボランティア事業）提出（9/9）
3. JHHHネットワーク会議（9/24-25 於：東京）2名参加
4. 周産期保健医療協議会委員の任期満了（23年12月）にともなう次期委員の選任について（西岡）



日本自閉症協会 都道府県・政令指定都市自閉症協会役員連絡会の報告

10月1～2日に日本自閉症協会の都道府県・政令指定都市自閉症協会役員連絡会に参加してきました。東京は少々寒かったです。

山崎晃資新会長のあいさつに始まり、最新の行政報告、各自閉症協会との意見交換会、震災報告など、みっちり自閉症に浸かっていた2日間でした。（普段から浸かっていますけど）

山崎会長のあいさつでは、日本自閉症協会のあり方について様々な角度から述べられていましたが、「この協会の中心は当事者性であり、関係者を含めて、自閉症のしあわせを守る人たちの集まりである。」といわれたのが印象的でした。確かにまいわーどの活動をしていく上でも、時々「なんのためにやっているのか」と自らに問い直すことがあるのですが、これは大きな答えです。詳しくはいとしご&あじさい通信9月号でお読みください。積極的に生産的な会議とし、役員で協会を盛り上げるように、との結びでした。

行政報告は、九州大会にお越しくださった文部科学省石塚調査官、厚生労働省小林専門官のお二人でした。今回はたっぷり1時間ずつ、最新の行政の動きを教えてくださいました。少しずつではありますが、確実に動いていますね。いままで不足していると感じていたところに予算が付いていくのは、これからの期待が高まります。こうして形が整ってゆくところに、内容を深めるためにはやはり当事者の声をしっかり届けることが大切になってきますね。時間外にたくさんの質問に答えてくださったお二人に感謝！「また沖縄に行きたい！」とのこと、いつでも大歓迎ですよ。

震災や台風などそれぞれの自閉症達がどのように乗り越えたかの報告は、やはり日頃からの準備の



大切さを認識しました。やはりほとんどの自閉症達は自動車の中が避難所になっていました。特別支援学校を障害者に特化した避難所とできるように行政に働きかけるように、とのアドバイスはすぐにも実行したいと思います。

各自治体との意見交換会では、まず活動報告。もちろん沖縄は九州大会が無事終了したことも報告しました。案の定「次は全国大会を」と言われましたが、震災復興のため東北に譲ることにしました。内心助かったと胸をなで下ろしました（笑）

次に「どうすれば会員が増えるのか」をテーマに意見を出し合いました。山崎会長「会員数増をめざす理由は会費収入だけでなく、自閉症の願いを届けるため、1万人より3万人の声のほうにインパクトが違う」具体策として、キャンペーンを行う、世代別ニーズに合わせる、入会のメリットを明らかにする、等々いろいろな意見が出ました。いくつか沖縄でもすぐできそうなことがありましたので、実現してみたいと思います。ホームページから入会できるシステムはまだ取り入れている自閉症協会が少ないみたいです。感心されちゃいました。

こうした集まりに参加すると、これからの方向性が見えてきて、それぞれが元気をもらいます。今回は3月の総会ですがどなたか一緒に行きませんか？ 楽しいですよ。

（西岡）

てだこわーると ゆんたく会の報告

要望をまとめよう！（2011年9月24日土曜日開催）

浦添に在住するまいわーると会員、当事者、ご家族の幸せのために、みんなで知恵を出し合い、就学保障、学習保障、進路などについて考えようと、今回は大人6名、子ども4名、計10名が参加して要望書を練り直しました。新垣さんが出された叩き台をもとに和気あいあい議論しました。「研修は先生方全員参加してほしいな。」「校内研修だけでは深まらないと思う。」「専門機関との連携をしっかりやってほしい。」「県立特別支援学校と市立小・中学校が行き来できるといいな。」「子どもに無理させないようにしてほしいね。」「青年期のデイサービスがほしい。」等、様々な声が出ました。あっという間の2時間でした(@_@)

要望をまとめ、いざ、教育委員会、福祉課へ！！ 教育委員会は未定ですが、福祉課とは10月3日（月）午後2時～話し合いを持ちました。よい協力体制ができそうです。教育委員会とも実りある話し合いができるといいですね。

次回は、10月29日（土）14:00～16:00『サン・アピリティーズうらそえ』です。浦添市議を招いて要望を聞いていただきたいと考えています。ぜひ、みなさんの生の声を議員のみなさんへ伝えましょう。多くの方の参加をお待ちしています！！

（松田）

映画情報

海洋天堂

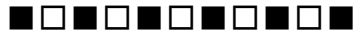
余命わずかな父が息子に伝えたい事

アジアを代表するアクションスター、ジェット・リー。彼がその脚本を読んでノーギャラでの出演を切望したという話題作。水族館で働くシンチョンは、妻と死別した後、男手一つで自閉症の息子ターフーを育ててきた。ある日、彼は自分が癌に冒され余命わずかだと知る。そして仕事の合間を縫って息子を預かってくれる施設を探し、一人で生きていくための術を少しずつ教えていく。卵のゆで方、買い物の仕方、バスの乗り降り…。そのやりとりはどこかユーモラスでありつつ、優しい温もりに溢れている。最期のとき、父親は子に何を伝え、残していけるのか子どもの幸せを願う親の深い愛情という普遍的なテーマが胸を打つ。

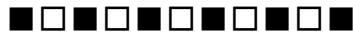
桜坂劇場 10/22～11/18

*詳しくは桜坂劇場のホームページをご覧ください。

11月定例会 11月1日(火) 10時～



9月の活動報告



- 9月 3日(土) ・成人部会ゆんたく会
- 9月 6日(火) ・定例会
- 9月 7日(水) ・福祉センター小規模団室入居団体連絡会
- 9月10日(土) ・SSTひびきクラブ
- 9月11日(日) ・イエローレシートの日
- 9月14日(水) ・あじさい通信発送作業
- 9月17日(土) ・浦添地区ゆんたく会 てだこわーんど
・わらびの会運営委員会
- 9月23日(金) ・ゆんたく会



10月の活動予定



- 10月 1・2日(土・日)
 - ・日本自閉症協会 都道府県・政令指定都市役員連絡会
- 10月 1日(土) ・成人部会ゆんたく会 13時～ まいわーんど事務所前
- 10月 3日(月) ・浦添市障害者自立支援協議会との意見交換会 14時～ 浦添市役所
- 10月 4日(火) ・定例会 10時～ まいわーんど事務所前
- 10月11日(火) ・イエローレシートの日
- 10月13日(木) ・沖縄県発達障害者支援センター連携協議会
・成人部会 大学支援会議 13時～
- 10月15日(土) ・浦添地区ゆんたく会てだこわーんど 12時～
・わらびの会運営委員会
- 10月22日(土) ・親父の会 19時～ 「ポコアポコ浦添店」
- 10月28日(金) ・ゆんたく会 10時～ まいわーんど事務所前
- 10月29日(土) ・浦添地区ゆんたく会 てだこわーんど 14時～



沖縄県自閉症協会 八重山支部

〈10月の活動予定〉

定例会 日時：10月21日(金) 13時30分～15時
場所：石垣市健康福祉センター ボランティア推進室
連絡先：TEL：090-7587-2411
e-Mail：2090.yu-163@ezweb.ne.jp (長谷部)

てだこわーんど(浦添市) ゆんたく会

〈10月の活動予定〉

浦添市障害者自立支援協議会との意見交換会
日時：10月 3日(月) 14時～16時
場所：浦添市役所

ゆんたく会 日時：10月15日(土) 12時～15時
10月29日(土) 14時～16時
場所：サン・アビリティーズうらそえ
連絡先：090-6427-6533 (松田)



〈10. 11月の活動予定〉

ゆんたく会 日 時：10月 1日（土） 13時～

大学支援会議 日 時：10月13日（木） 13時～

場 所：県総合福祉センター まいわーど事務所前

連絡先：TEL：098-945-8226（萩堂）

森林セラピー 日 時：11月5、6日（土・日）

場 所：やんばる学びの森

連絡先：沖縄県自閉症協会事務局（仲田） TEL・FAX：098-885-2267



成人自閉症者の森林セラピーのご案内

森林セラピーには森林効果で、高いストレス状態を鎮静化させリラックスさせる効果があります。秋のやんばるの森に出かけ、心身ともにリフレッシュしましょう！！

日 時：2011年11月5日（土） 午前9時30分から

2011年11月6日（日） 午後4時30分まで

体 験：やんばるの森をガイドウォーク

宿 泊：やんばる学びの森（国頭村安波 1301-7 Tel 0980-41-7979）

参加費：無料（一泊2食付・ただし、両日とも昼食は各自負担になります。）

申込み先：TELまたは、氏名・住所・連絡先を明記の上、FAXにてお申し込みください。

沖縄県自閉症協会（仲田） TEL・FAX：098-885-2267

申込〆切：10月23日（日） *定員に達し次第〆切します。

＜行程＞

一日目

09:30 集合（那覇高速入口の駐車場）
10:00 出発（北部観光バス貸切）
10:30 伊芸パーキングエリア
11:30 イオン名護店にて（昼食）
13:30 道の駅「ゆいゆい国頭」
14:30 やんばる学びの森へ到着
18:30 入浴
19:00 夕食（レストラン）
19:30 懇親会

二日目

07:00 起床
08:00 朝食（レストラン）
09:00 チェックアウト
・ビジターセンター展示室見学
10:00 ガイドウォーク
12:00 昼食（レストラン）
13:00 出発
14:00 道の駅「ゆいゆい国頭」
16:30 那覇着 解散



親の会

日 時：10月22日（土）

19時～22時（3時間：飲み放題・食べ放題）

場 所：ポコアポコ 浦添店（浦添市伊祖 2-1-3）

大平インターから58号線向け、150m先、右側です。向かい（左側は酒屋です。）

参加可能な方、新垣までメール又は電話連絡をお願いします

TEL：090-8762-9314 メール：rocky-hkje@softbank.ne.jp（新垣）

講演会・勉強会のお知らせ

◆服巻智子氏 講演会 『自閉症の子どもたちの思春期』（仮題）◆

講師：服巻 智子氏

日時：11月19日（土） 13:30～15:00（開場 13:00）

会場：宜野湾市立中央公民館（宜野湾市民会館 2階集会場）

定員：300名 ※定員に達し次第締め切ります。

受講料：1,500円（資料代含む）

お申込み方法：メールまたはFAXでお申し込みください。 ※申込用紙、別紙添付

申込み・お問合せ：知的障害者更生施設 愛泉園

FAX：098-945-5195 E-Mail：eee_2009_es@yahoo.co.jp（携帯からも送信可）

◇服巻先生との「ゆんたく会」をします。

（定員 20名・申込み先着順 時間：15時30分～17時 参加費 500円）

◆ソーシャルストーリーズ 入門ワークショップ セミナー◆

講師：服巻 智子氏

日時：11月20日（日） 沖縄会場 10:00～16:00（開場 9:30）

会場：沖縄産業支援センター（会議室 302号室）

定員：80名

内容：1. 自閉症の対人コミュニケーションに影響を与える脳の特性について
2. ソーシャルストーリーズTMが支える社会性の理解について
3. ソーシャルストーリーズTMのガイドラインTM10.1
4. 「ソーシャルを書く」実習
5. 質疑応答

受講料：22,000円

お申込み方法：FAXでお申し込みください。 ※申込用紙、別紙添付

申込み・お問合せ：㈱フロム・ア・ヴィレッジ

FAX：0952-60-5756 URL：<http://www.from-a-village.com/>

◆第89回 知的障がい・発達障害児（者）に関するミニレクチャーと事例検討会◆

テーマ：「発達障がいの基礎知識」

講師：大鶴 卓氏（国立病院機構琉球病院 精神科医長）

日時：10月22日（土） 14:00～16:00（受付 13:30～）

場所：独立行政法人国立病院機構 琉球病院 研修棟3階会議室（金武町金武 7958-1）

参加費：300円（当日徴収）

問合せ：療育指導室（三浦・金城）まで TEL：098-968-2133 内線 641・659

編集後記 今年もきました、運動会！さあ～て、どうなることやら、親もかなり胆が坐ってきたけども、サプライズがあるといいなあ（^◇^）まあ、楽しんでいきましょう♪（石川）

沖縄自閉症児者親の会 まいわーるど

〒903-0804

那覇市首里石嶺 4-373-1 沖縄県総合福祉センター内小規模団体室

電話・FAX:098-995-7860 e-mail:autism.okinawa@tea.ocn.ne.jp

*このあじさい通信は赤い羽根共同募金配分金で作成されました。

